

救命の手順

新しい日本版救急蘇生ガイドライン(2005年)対応



1 肩をたたいて意識の確認

肩をたたいて

意識の確認

119番を!!
AEDを!

2 助けを呼ぶ

3 呼吸の確認

あごを上げ、口元に頬を寄せ、呼吸の確認をします



4 呼吸がなければ、2回の人工呼吸

※空気が逃げないように、鼻をつまみましょう

5 30回の胸骨圧迫

胸が4~5cm沈む程度の強さで、1分間に約100回のテンポで押します



2回の人工呼吸



6 AEDで電気ショック

※傷病者から離れましょう

1. 意識の確認

『大丈夫ですか』など、3回呼びかける
肩(鎖骨のあたり)を叩き、痛み刺激を行う

2. 救急車、AEDの依頼

『誰か、来て下さい!』大きな声で応援を呼び、
周りの人に『119番で救急車の手配をお願いします』
『AEDを持ってきて下さい』と依頼する

3. 気道確保、呼吸の確認

頭部後屈 - あご先挙上を行い気道確保を行う

傷病者の口と鼻に耳を近づけ、

普段どおりの呼吸であるか確認をする(5~10秒以内)

医療従事者は脈拍も確認する

<呼吸の確認>

胸部の上下運動を『見る』

呼吸があるのか音で『聞く』

頬で息を『感じる』

4. 2回の人工呼吸 (省略可能)

気道確保を行い、鼻をつまんでゆっくりと(1秒かけて)

2回息を吹き込む。

5. 胸骨圧迫、人工呼吸

服を脱がせ、乳首と乳首の間に手のひらの付け根を置く

1分間に100回のリズムで30回胸骨圧迫を行う

(4~5cmの深さで圧迫)

気道を確保し、ゆっくりと2回人工呼吸を行う(1回に1秒)

30回の胸骨圧迫と2回の人工呼吸を5セット行う(約2分間)

6. AEDが到着しだい、AEDを使用

ふたを開ける (電源を入れる)

電極を貼る (右の鎖骨の下と左の脇腹)

電気ショックが必要な場合は、放電ボタンを押す

こんなときにはAED!!

意識がない

呼吸がない

脈拍なし（医療従事者のみ）

重要

使う前には
ここをチェック！



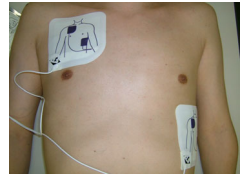
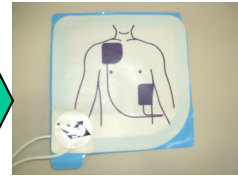
ふたを開けると、電源ON！



「意識・呼吸を確認してください。
胸を裸にして、AEDのふたから
四角い袋を取り出してください。
袋を破いてパッドを取り出してください。
パッドの一つをシートから剥がして、
図のように右胸に貼ってください。
もう一つのパッドをシートから剥がして、
左わき腹に貼ってください。」

電極パッドを体に貼ります。

左右どちらでもOK。



電極パッドを貼ると、
自動的に心電図の解析を開始します。
あとは器械(AED)の音声の指示に従って下さい。

「体に触らないでください。
心電図を調べています。」

電気ショックが必要な心電図の場合

「電気ショックが必要です。
充電しています。」

電気ショックが不要な心電図の場合

「体に触っても大丈夫です。
直ちに胸骨圧迫と人工呼吸を
始めてください。」

放電ボタンを押します。



「体から離れてください。
点滅ボタンをしっかりと
押してください。」

「電気ショックを行いました。
体に触っても大丈夫です。
直ちに胸骨圧迫と人工呼吸を
始めてください。」

胸骨圧迫30回と人工呼吸2回を
交互に2分間行います。



普段どおりの呼吸が戻った場合は、身体を横向きにして救急隊員の到着を待ちます。
(電極パッドは付けたままにして下さい。)

日本光電工業株式会社

東京都中野区東中野3-14-20 〒164-0003
AED専用フリーダイヤル:0120-701-699
URL: <http://www.nihonkohden.co.jp/>



NIHON KOHDEN

